

令和2年度 第1回 田原本町行政改革推進委員会 会議要旨

日時：令和2年11月11日（水）

午前10時00分～11時00分

場所：田原本町役場3階 301・302 会議室

出席委員（敬称略）

小松原 尚 （公立大学法人奈良県立大学 地域創造学部教授）
梶木 裕文 （田原本町議会総務文教委員会 委員長）
山本 雅俊 （田原本町農家代表者会 会長）
山田 至完 （田原本町商工会 会長）
大西 宏興 （田原本町社会福祉協議会 会長）
山岡 佐規子 （田原本町地域婦人団体連絡協議会 会長）
秋山 利元 （株式会社南都銀行 田原本支店 支店長）
谷野 守弘 （奈良中央信用金庫 専務理事）
榊井 宏之 （公募委員）
住井 康典 （田原本町副町長）

欠席委員 土井 文光 （田原本町自治連合会 会長）

事務局 町長公室長、町長公室参事、総務部長、住民福祉部長、産業建設部長、
産業建設部田淵参事、産業建設部村上参事、上下水道部長、教育部長、
企画財政課長、企画財政課課長補佐、企画財政課政策企画係長

次第

1. 開 会
2. 委員紹介
3. 議 事 議案第1号 第5次田原本町行政改革の取り組み状況報告について
4. 閉 会

配布資料

- 資料1 第5次田原本町行政改革大綱
- 資料2 第5次田原本町行政改革大綱 補足資料
- 資料3 第5次田原本町行政改革実施計画書（R2年度～R3年度）
- 資料4 令和2年度田原本町行政改革の取り組み状況について
- 資料5 田原本町行政改革推進委員会委員名簿

資料6 田原本町行政改革推進委員会規則

議事

1. 開会

2. 委員紹介

(事務局) 開会挨拶

出席委員は10名で、田原本町行政改革推進委員会規則第5条第2項に規定している定足数に達しており、委員会が成立している旨、説明。

会議資料の確認。令和2年度の新委員紹介。議事進行を小松原委員長へ一任。

3. 議事

(小松原委員長) 委員長挨拶

議案第1号 第5次田原本町行政改革の取り組み状況報告について、事務局から説明を求める。

(事務局)

資料2、3、4について説明。

(小松原委員長)

事務局からの説明に対し、委員からの意見、質問を聴取。

(山岡委員)

資料4、唐古・鍵遺跡史跡公園の令和元年度実績に対し、目標が減っている理由について確認。

(教育部長)

目標45,000人に対し、令和元年度の実績116,142人。昨年度はムラまつりや流鏝馬のイベント等実施により公園利用者が増えた旨、説明。

(山岡委員)

資料3、業務委託による図書館カウンター業務管理運営について。直営によるメリットが多い現場だと思うが、委託によるメリットについて教示を。

(教育部長)

図書館利用に関し、町立図書館では県内一番の利用、1日平均1,000人超の来館あり。読み聞かせや図書整理等、業務の一環で学校司書業務に出向くこともあり、更に事務効率

化やサービス向上を図るため、窓口のみ委託を検討している旨、説明。

(山岡委員)

図書館在籍の経験上、図書館の窓口をしない職員が図書館運営をできるのか疑問。窓口での住民意見を図書館運営に活かせる。学校への派遣はボランティア等でも良いのでは。人材不足で委託し委託費がかかれば、人を配置しても同じ、との意見。

(小松原委員長)

図書館業務は多様で、適材適所が重要。どの部分を業務委託するのか不安あり、との意見について、教育部長の意見確認。

(教育部長)

全て委託し職員が関わらないわけではない。委員の意見を検討させていただく。

(山岡委員)

窓口業務委託は他自治体でも実施されていたが、業務の線引きが難しい。レファレンスサービスでどう対応し、どこまで委託するか、単なる貸出・返却業務のみの委託か、難しい問題がある。よく検討いただきたい。

(小松原委員長)

図書館業務はレファレンス業務が要。よく検討を。

(教育長)

ご意見承知した。指摘どおり、窓口での直接対応で職員のスキルが向上するということもある。効率化だけでなく、どういうところに委託するか、十分検討をおこなう。

(榊井委員)

資料3、19ページ、キャッシュレス決済の導入について。コロナ禍での新しい生活様式、非接触ニーズでキャッシュレス決済は注目されている。国がデジタル化を推進しており、今後ますます加速していくと思われ、良いタイミングでの導入。新事業として8月開始とのことだが、利用実績は。今後周知、利用促進に向けての方策は。

(町長公室参事)

8月3日導入、10月末までの3ヶ月間の利用実績は275件。総合窓口だけで見ると全体の5%前後を推移している状況。引き続き窓口や広報PR等、利用推進を図っていく。

(秋山委員)

資料4、70ページ、電力会社の見直しによる電気料金の削減について。令和元年度実績が累計で3,500万円削減、令和3年度目標2,150万ということは電気料金が増えるということか。また、電力会社見直しで入札をしていると思うが、新電力企業等も対象か。

(総務部長)

実績値であり、目標値を超えていることを説明。新電力等については、まず平成29年度入札の際、全施設ということで新電力会社と契約をした。今回、令和2年度は業務用電力、産業用電力、電力量が多い施設、学校等昼間の電力の多いところに4分割し、入札の結果、学校以外及び学校の7校舎それぞれで契約した。

(秋山委員)

当行も色々な業務提携先があり、新電力も多々ある。連携・協力ができれば。

(山本委員)

国体誘致に川西・三宅・田原本が手を挙げていることが新聞等で報道されているが、計画に記載ない。国体に関する項目は何年頃からあがってくるのか。

(町長公室長)

県が大和平野中央部を整備候補地として計画され、磯城郡三町が県と覚書を締結、積極的に推進していこうという状況。県の整備であり、本町は一定の纏まった土地を確保できる状況になれば積極的に手を挙げていきたいという状況。行革実施計画に記載するものではなく、本町としては土地の確保等進めていく役割になるかと考えている旨説明。

(山本委員)

それは何年くらいからか。

(町長公室長)

これから進めていく状況。令和3年7月までに、手を挙げるかどうかの意思表示が必要と聞いている。

(大西委員)

ふれあい農園について。ふれあい農園近くに田があり、よく通る。野菜を作っておられる様子を見かけるが、少し手狭な感じ。農家の担い手が少なくなり、耕作放棄地が多く出ているので、町で借り上げ区画整理し、町民に有料で貸して土に触れ合う機会を提供してはどうか。

(産業建設部長)

本町ではふれあい農園を4箇所整備予定だったが、アンケート調査の結果、当時利用希望が少なかったため、2箇所整備した。再度アンケート調査等を実施し、必要に応じ、土と触れ合う場を提供できるよう検討する。

(山岡委員)

申請書等の印鑑が不要となる旨、報道されているが、町ではどのように考えているか。国の方針が関わってくるかと思うが。

(総務部長)

国の方で進められている。それも含め、町でも見直しを進めていきたい。同時に電子決裁等、印鑑不要にするということも進めていきたい。

(谷野委員)

資料4、マイナンバーカード普及率について。令和元年実績が21.49%、令和3年度の目標20%を超えているが、どういうことか。近隣の市町村と比べ、数値はどうか。

(住民福祉部長)

令和3年度マイナンバーカード目標値は20%に対し、実績21.49%、既に目標を達成している状況。その後、現在28.7%まで取得率が上がっている。利用しやすくなっていくという状況があり、これからも色々な機会を捉え、周知を図り取得率を上げていきたい。また、近隣の市町村と比べ、本町は高く、県内でもベスト10に入っている状況。

(榊井委員)

資料3、7ページの道の駅レスティ唐古・鍵について。指定管理者からの納付金、令和元年度目標額800万円に対し、約508万円。コロナ禍で客足に影響があったかと思う。道の駅は人が集まり、留まる場所となり、公園も人が集まってきている。道の駅の売上増は町の収入増にもなると思うが、インパクトのある、利用促進できる方策は考えているか。

(産業建設部参事村上)

唐古・鍵遺跡史跡公園は、昨年の流鏝馬、THE WAY CARNIVAL等のイベント開催により目標を大幅に上回る状況だったが、道の駅については目標達成できていない状況。今年度はコロナの影響、5月の休業要請等あり、特に上半期は大幅に利用者減の状況であるが、8月9月10月実績は、コロナ禍にもかかわらず昨年度を上回っている状況。道の駅でもメニュー改定や品揃えの変更、積極的なSNSでの発信等、史跡公園とも連携を図り収入増に努めている状況。インパクトのある事業を視野に、引き続き取り組んでいきたい。

(榊井委員)

橿原、天理等、広域での観光事業連携も考えられる。ご検討の程よろしく願います。

(産業建設部参事村上)

10月、他市町村との連携で歴史フェスティバル、奈良トヨタ・奈良新聞との連携で防災アウトドアフェスティバル等イベントを開催した。10月1日観光協会が一般社団法人化、新組織『田原本まちづくり観光振興機構』ができた。共に地域を盛り上げていきたい。

(谷野委員)

資料3、74ページ、人件費の削減について。令和元年度目標削減額が106万2千円。これは時間外手当総額の何%くらいか。

(町長公室長)

人件費、令和元年度実績88万5千円。率でいうと僅かな率。平成28年度対比で、一定の算式で算出したもの。決算対比では、平成28年度対比の令和元年度実績で約711万円程度の減額。時間外勤務については、上限設定、ノー残業デー実施、長時間労働した際に産業医の面談を受けて貰う等を行っており、各担当課長の時間外勤務に対する管理が進んできている。決算対比で、平成30年度、令和元年度と前年対比で削減できている。今後もしっかり削減していく。

(谷野委員)

働き方改革で残業代が減り、職員の福利厚生面や精神安定の面で新しい仕事の活力にもなるが、生活費が減るという状況もある。

(町長公室長)

毎年度時間外勤務手当額も4千万円ほど出ており、当然職員のワークライフバランスもしっかり確保していく必要がある。町として時間外勤務削減の取組を進めていきたい。

(山岡委員)

人材育成のための研修会の推進について。新聞で飲酒運転、書類のシュレッダーの件が報道されていた。現場の方に研修をしているか。基本的な問題をきちんとしていただきたい。

(町長公室長)

資料3、35ページ、法令遵守体制の構築。コンプライアンス推進のため、平成29年度法令遵守推進条例を制定、信頼される町政運営に努めることを示した。法令遵守研修実施実績、令和元年度3回（不当要求の防止、新規採用職員研修、職務倫理とハラスメント研

修)、事案が発生しないよう努めていた。再発しないよう意識づけを図っていく。

(山本委員)

コロナ禍で資源ごみの収集がストップし、今は燃えるゴミ収集のみ稼働。再開日程が未定だが、回収予定日が近いので、早急に各自治会長に収集予定の連絡をお願いしたい。

(産業建設部長)

住民負担を考慮し、燃えるゴミだけは収集している。職員の健康状態の確認をしており、なるべく早く収集体制を組み、今後の日程を決定次第、自治会長を通じ周知していきたい。

(山本委員)

今週末が新聞収集日で、それだと間に合わない。出しても回収がないと家に持って帰って貰うよう連絡が必要となる。次の収集日までに自治会長に伝達して欲しい。12月からの収集となる等、予め先の予定が分かっている方が動きやすい。

(産業建設部長)

ご意見を参考に、住民負担の少ない方法を選択し、取り組ませていただく。燃えないゴミや資源ゴミが回収可能となれば、全てのゴミを回収する旨、案内できるようにする。

(小松原委員長)

他にご意見等ないようなので、本日の議事はすべて終了。

長時間に亘りご協力いただいたことの御礼。進行を事務局にお返りする。

4. 閉会

(事務局)

委員の協力、小松原委員長の議事進行に対する御礼。本日審議の結果を踏まえ、効果検証結果として議事要旨と共に町ホームページにて公表を予定。これをもって、委員会終了。